

令和 8 年度地区別防災研修会

新たな防災気象情報について

～令和 8 年 5 月 29 日から気象の警報などが大きく変わります～

令和 8 年 5 月
鹿児島地方気象台

- 住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう避難情報等を5段階の警戒レベルに整理（平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、令和元年出水期から運用開始）
- その後、令和3年の災害対策基本法改正により、警戒レベル4にあたる避難勧告と避難指示が避難指示に一本化

令和3年5月20日から
ひなんしじ
避難指示で必ず避難
ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生又は切迫 緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	ひなんしじ 避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

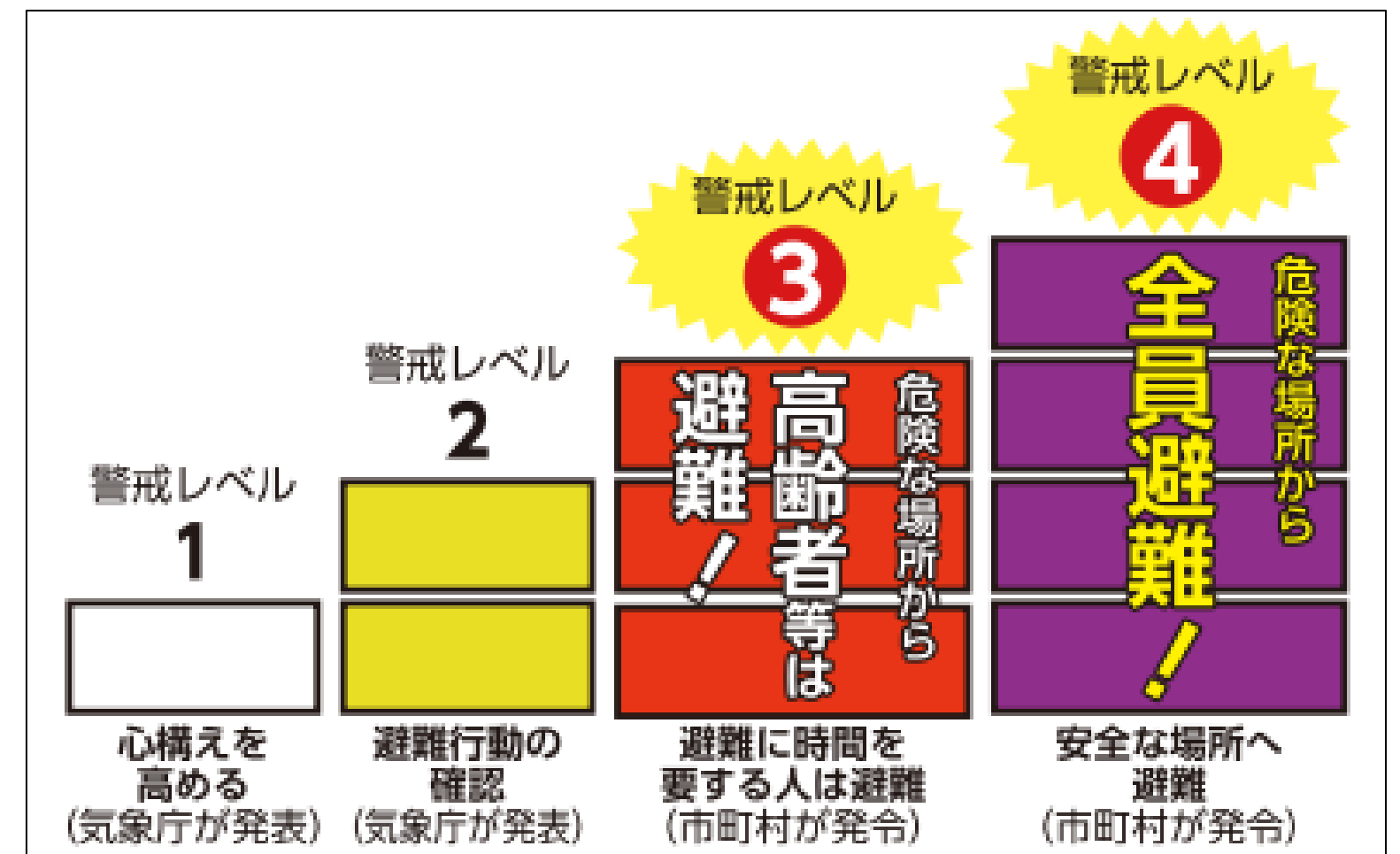
※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて自らの行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難**しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁



❗ **警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。**

「避難行動判定フロー・避難情報のポイント」(内閣府(防災担当))より

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府(防災担当))より

令和8年5月29日から気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに 避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や 避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				

洪水予報河川が対象
川内川・肝属川・万之瀬川

鹿児島市内を流れる河川の氾濫については、「レベル3大雨警報」等として発表する。
水位周知河川の水位到達情報は、これまで通り河川管理者から発表される。



警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

警戒レベルに整合させることで発表されてる情報の名称を見れば、とるべき行動が分かるようになります



河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります (特別警報の新設など)

洪水予報河川の氾濫については「河川氾濫」で、洪水予報河川以外の氾濫は低地の浸水と合わせて「大雨」に関する情報で発表します



「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

対象災害ごと（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）の情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として「危険警報」を新設します

避難のタイミングはレベルで判断！

時間推移のイメージ

災害
発生

2時間～
0時間前

数時間～
3時間前

半日～
数時間前

数日～
1日前

レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

レベル4 危険警報

- ・危険な場所から全員避難する
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難

レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

キキクルで災害の危険度を確認！

「キキクル」とは・・・

キキクルは、土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度を、色分けされた地図で確認できるツールです。

※ 令和8年5月下旬（予定）から、浸水キキクルと洪水キキクルを重ね合わせて「大雨キキクル」として表示します。

※ 浸水キキクルと洪水キキクルを個別に表示することも可能です。



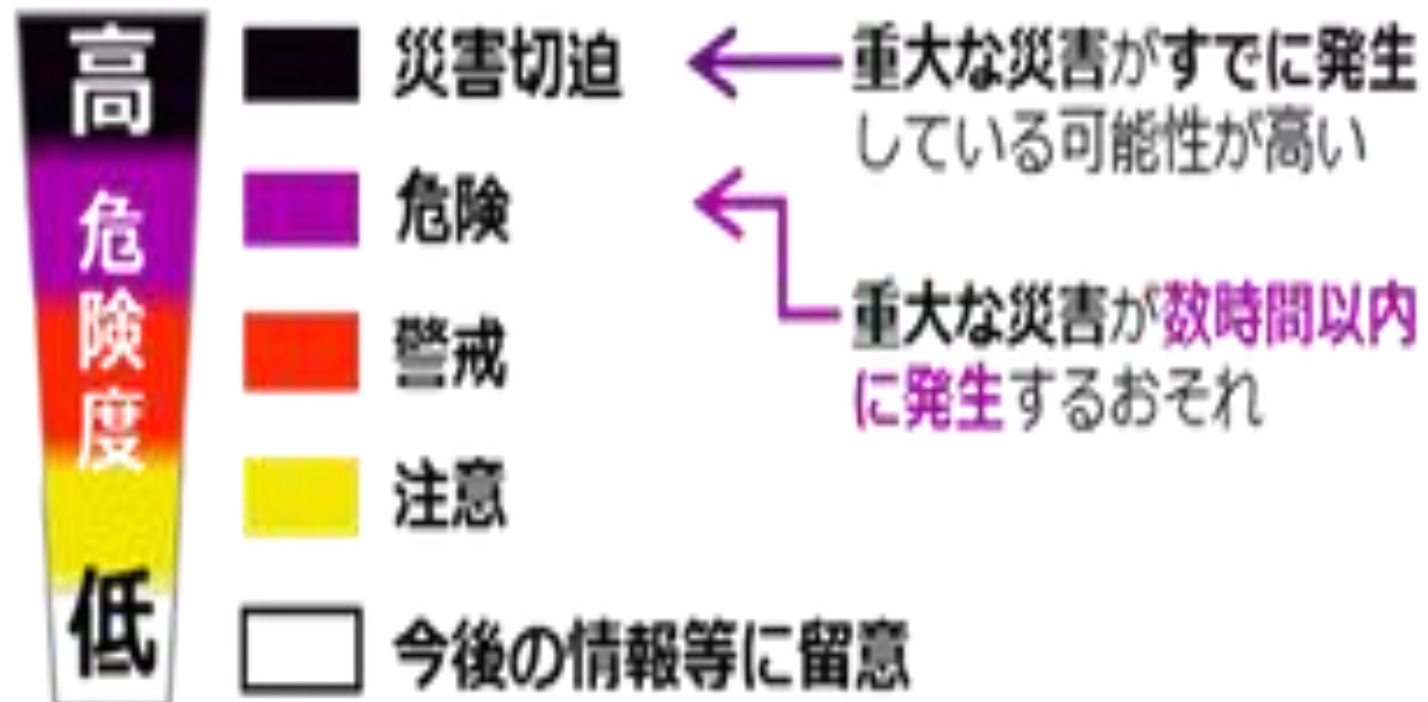
キキクル

検索



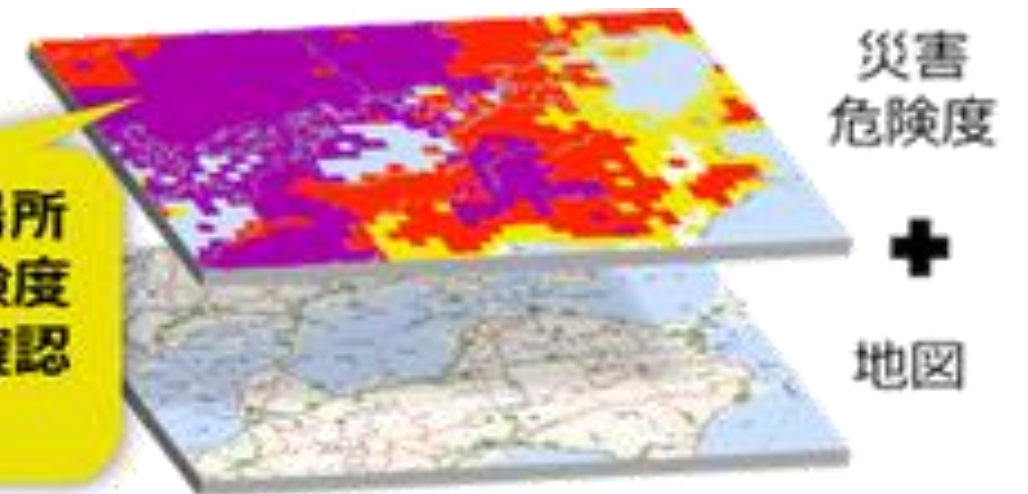
「キキクル」の主な特徴

危険度を5段階に色分け



地図上にほぼリアルタイム表示

自分がいる場所の災害の危険度を地図上で確認できます。



雨による災害の危険度が10分ごとに更新されます



これまでいくつかの種類の「気象情報」として伝えていた情報は情報の性質を把握できるよう分類して提供

極端な現象を速報的に伝える情報・・・**気象防災速報**

気象防災速報（記録的短時間大雨）

気象防災速報（線状降水帯発生）

気象防災速報（線状降水帯直前予測）

気象防災速報（短時間大雪）

気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）

✓ ○○県気象防災速報（線状降水帯発生）

網羅的に解説する情報・・・**気象解説情報**

気象解説情報（線状降水帯半日前予測）

気象解説情報（台風第○号）

気象解説情報（大雨）

- ✓ 全般気象解説情報（大雨）
- ✓ ○○地方気象解説情報（大雨）
- ✓ ○○県気象解説情報（大雨）

警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。

- 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
- キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。

